

強みの定義

辞書による定義（三省堂 大辞林）

①強いこと。強さの度合。
「一を発揮する」

②頼りになるすぐれた点。長所。
「顔が広いのがーだ」

強みの定義

本書による定義

常に完璧に近い成果を生み出す能力

強みの定義

常に・・・？

たまに良い結果が出せるのではなく、何度も

完璧に近い成果・・・？

そこそこの結果ではなく、
誰にも負けない優れた結果

強みと強固な人生

強みを活かして

強固な人生を築くのに

最も大切な三つの原則

強みと強固な人生

1. 強みは、首尾一貫してすることができて、初めて真の強みとなる
2. 満足のいく成果を得るには、自らの職務に関わる全ての業務に適した強みを持つ必要はない
3. 傑出した存在になるには強みを最大限に活かせ

第1原則

強みは、安定性があるからこそ、成果も予見できる

⇒常に安定してうまくいき、
満足感が得られる場で発揮される才能が
真の強みである

⇒そして真の強みは、真の満足感を得られる

第1原則

例)

タイガー・ウッズが凄いのは、
「見事なショット」が
「たまたま」打てるのではなく、
「安定して」打てているからである

第2原則

オールマイティーである必要はない

⇒自分の手札を最大限に活用していけば良い

第2原則

例)

RPGにおいて、攻撃も魔法もそこそこなオールラウンダーでパーティを作っても、苦戦する

それより、攻撃の得意な戦士や、魔法が得意な魔法使いなど、それぞれの強みに特化したキャラでパーティを作った方が、楽に冒険できる

第3原則

弱みにこだわってはいけない

⇒弱みを無視するのではなく、折り合いをつける

弱みと折り合う事で、強みに目を向ける

自分にはない才能は、他人に助けてもらおう

第3原則

例)

タイガー・ウッズにも苦手なショットはある
しかし、弱みが強みの枷にならない程度に、
ある程度満足のいくレベルまで練習した

そして、それ以上、弱みを克服するのではなく、
もっとも得意とするスウィングの練習に時間を費
やした

成功を収めるには

自らの強みを自覚し、活かしたから、

自らの弱みを自覚し、折り合いをつけたから、

成功を収めたのである